



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 住友ベークライト株式会社

コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーショングループ長 (氏名) 吉田 英司

TEL 03-5462-4111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	49,185	△7.2	3,711	38.2	3,890	37.2	2,728	66.0
28年3月期第1四半期	52,993	7.4	2,684	11.8	2,834	4.2	1,643	△15.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △8,474百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 5,951百万円 (944.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	11.59	—
28年3月期第1四半期	6.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	244,702	149,171	60.4
28年3月期	260,122	158,908	60.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 147,732百万円 28年3月期 157,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	107,000	1.3	7,200	49.6	7,500	49.3	4,300	103.4	18.27
通期	215,000	3.9	15,000	46.5	15,500	46.2	9,000	135.1	38.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	247,952,394 株	28年3月期	262,952,394 株
29年3月期1Q	12,602,033 株	28年3月期	27,600,108 株
29年3月期1Q	235,351,420 株	28年3月期1Q	240,865,079 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国および欧州では景気が緩やかながらも回復基調で推移しましたが、中国では景気の減速が続き先行き不透明感が高まりました。日本も企業業績鈍化や個人消費低迷の影響で横ばいの状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体においては、パソコン用途が落ち込んだものの、スマートフォンなど多機能携帯端末用途が新興国を中心とした需要に支えられ、全体としては堅調でした。自動車においては、北米の新車販売は高水準を持続し、欧州も好調でしたが、中国では個人消費の停滞などから自動車取得税の減税効果に持続的な盛り上がりがなくわずかな伸びにとどまり、国内でも軽自動車税増税後の落ち込みが長期化し低調でした。国内の住宅着工件数は、回復基調で推移しました。

当社グループはこのような経営環境の中、「CS最優先」を事業活動の基本方針とし、社内外の連携・協業を積極的に行うことにより、市場のニーズを掘り起こし、個人・組織・会社全体の力を結集して持続的な成長を図るべく、次の方針を掲げ取り組んでまいりました。

- ①新製品の早期立ち上げ、創生
- ②既存事業の再生、事業転換
- ③成長分野の収益力強化、規模拡大

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、円高による在外子会社売上高の円換算額目減りおよび原料安に伴う売価値下げなどの影響により、491億85百万円と、前年同期比で7.2%、38億8百万円の減収となりました。損益につきましては、連結営業利益は、半導体関連材料などの好転に加え、昨年より取り組んでまいりました固定費削減効果が寄与し、前年同期比で38.2%増の37億11百万円となり、連結経常利益は、前年同期比で37.2%増の38億90百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で66.0%増の27億28百万円となりました。

セグメント別販売状況（対前年同期比較）

①半導体関連材料

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、スマートフォンなど多機能携帯端末向けで販売数量を大きく伸ばしましたが、円高影響などにより、売上高は若干の増加となりました。

半導体パッケージ基板材料の「LαZ®」は、アプリケーションプロセッサやメモリー等の分野での拡販に注力した結果、中華スマホ向けを中心に実績化が進み、売上高は増加しました。

②高機能プラスチック

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂は、北米および欧州の自動車用途が伸長しましたが、アジアでの販売低迷に加え、円高や原料安に伴う売価是正などが影響し、売上高は減少しました。

航空機・自動車等成形品は、航空機関連の数量が伸長したものの、円高影響などにより、売上高は減少しました。

銅張積層板は、フェノール樹脂銅張積層板の片面事業縮小の影響や、家電用途の低迷などにより、売上高は減少しました。

③クオリティオブライフ関連製品

医療機器製品は、戦略製品の血管内治療用デバイス「ステアリングマイクロカテーテル」が昨年10月の海外販売に続き、本年4月に国内でも販売を開始し、順調に実績を重ねておりますが、既存製品において顧客での在庫調整が長引いたこともあり、売上高は減少しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装用途がジェネリック薬向けを中心に底堅い需要に支えられ、鮮度保持フィルム「P-プラス®」も、産地野菜用の新規採用が進み増加しましたが、カバーテープなどの産業用フィルムが減少し、売上高は横ばいでした。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板のプレート製品は、サンレンズ用偏光板や電子機器用絶縁材で顧客の在庫調整などがあり、売上高は減少しました。なおデコラ製品は、業績改善策の一環として本年3月末に実施しました高圧メラミン化粧板および不燃メラミン化粧板からの撤退により、売上高が減少しました。今後は鉄道車両用内装材や業界最薄の不燃メラミン化粧シート「デコライノベア®」などの高機能・高付加価値分野に特化し、新たな事業展開を図ってまいります。

防水関連製品は、新築住宅向けは堅調だったものの、リフォーム向けが低調で、売上高は横ばいでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ154億20百万円減少し、2,447億2百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が42億8百万円、有形固定資産が46億52百万円、のれんが22億75百万円減少したことによるものであります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ56億83百万円減少し、955億30百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーが30億円、賞与引当金が14億67百万円減少したことによるものであります。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ97億37百万円減少し、1,491億71百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を27億28百万円計上した一方で、配当金の支払11億76百万円があったこと、為替換算調整勘定が107億12百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月16日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、当社は外貨建金銭債権債務等に係る為替予約については、振当処理の要件を満たす場合には振当処理を行っていましたが、外貨建金銭債権債務等とデリバティブ取引の状況をよりの確に四半期連結財務諸表に反映させるため、当第1四半期連結会計期間より原則的処理方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響額が軽微であるため、遡及適用しておりません。

また、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,876	40,668
受取手形及び売掛金	41,783	40,637
商品及び製品	12,529	12,102
半製品	3,754	3,692
仕掛品	1,367	1,249
原材料及び貯蔵品	11,438	10,746
その他	7,819	6,818
貸倒引当金	△55	△51
流動資産合計	123,514	115,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,967	30,474
機械装置及び運搬具（純額）	39,072	36,440
その他（純額）	16,285	15,758
有形固定資産合計	87,325	82,673
無形固定資産		
のれん	24,318	22,043
その他	2,128	1,920
無形固定資産合計	26,446	23,963
投資その他の資産	22,836	22,201
固定資産合計	136,607	128,838
資産合計	260,122	244,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,115	26,557
短期借入金	4,879	4,799
コマーシャル・ペーパー	9,000	6,000
未払法人税等	2,870	2,297
賞与引当金	2,730	1,263
事業再建費用引当金	1,088	148
その他	9,384	10,240
流動負債合計	56,068	51,307
固定負債		
長期借入金	37,018	37,016
退職給付に係る負債	4,333	3,894
その他の引当金	82	82
その他	3,710	3,229
固定負債合計	45,145	44,222
負債合計	101,213	95,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	88,548	82,083
自己株式	△14,748	△6,733
株主資本合計	146,300	147,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,206	4,717
為替換算調整勘定	6,551	△4,161
退職給付に係る調整累計額	△739	△675
その他の包括利益累計額合計	11,018	△118
非支配株主持分	1,589	1,439
純資産合計	158,908	149,171
負債純資産合計	260,122	244,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	52,993	49,185
売上原価	37,583	33,526
売上総利益	15,409	15,659
販売費及び一般管理費	12,724	11,948
営業利益	2,684	3,711
営業外収益		
受取利息	102	46
受取配当金	214	204
持分法による投資利益	35	70
為替差益	148	—
雑収入	51	63
営業外収益合計	551	385
営業外費用		
支払利息	68	59
為替差損	—	55
租税公課	228	—
雑損失	105	91
営業外費用合計	402	206
経常利益	2,834	3,890
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	—	1
受取保険金	267	—
特別利益合計	274	2
特別損失		
固定資産除売却損	19	52
投資有価証券評価損	—	10
災害による損失	215	—
その他	4	—
特別損失合計	238	63
税金等調整前四半期純利益	2,871	3,829
法人税、住民税及び事業税	686	702
法人税等調整額	495	316
法人税等合計	1,182	1,018
四半期純利益	1,688	2,810
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,643	2,728

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,688	2,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,412	△488
為替換算調整勘定	2,887	△10,847
退職給付に係る調整額	△19	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△13
その他の包括利益合計	4,262	△11,284
四半期包括利益	5,951	△8,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,849	△8,409
非支配株主に係る四半期包括利益	101	△65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,702	24,192	16,943	52,838	154	52,993	—	52,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	69	0	69	—	69	△69	—
計	11,702	24,261	16,943	52,908	154	53,063	△69	52,993
セグメント利益	1,344	1,395	737	3,476	28	3,505	△820	2,684

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△820百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△816百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,554	21,777	15,674	49,006	179	49,185	—	49,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	33	0	33	—	33	△33	—
計	11,554	21,810	15,674	49,039	179	49,219	△33	49,185
セグメント利益	1,846	1,776	756	4,380	50	4,431	△719	3,711

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△719百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△719百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

各報告セグメントの主要な製品および役務の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品および役務の内容
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ製品